

教材教具・支援具の紹介



色別玉入れペグさし



- 色の認識を確かにし、集中力を高めたい児童に。
- ①色のマッチング
- ②両手指の巧緻性を高める。
- ③集中力をつける。
- 一つの台で2通りの使い方ができる。
- 材料はリサイクル品が主。

マークのマッチングボード



- 子供が大好きなマークを使った型はめならば、形が似ていても絵に注目しやすく、見比べることができる。
- 右側のピースを摘み、マジックテープからはがし、型にはめるという作業で手先の器用さも養える。
- ピースの置き場所を変えて、ステップアップも可能。

スイッチタッチ



- 表出が少なく、受身になりやすい児童に、スイッチを使って本人から遊びのスタートの意思表示できるスイッチ。
- 押したい気持ちはあるが、緊張が強いためスイッチのボタンまで手が伸びにくく、なかなか押せなかったり、押すまでに時間がかかっていたが、スイッチのボタンにバーを取り付け、バーに軽く触れただけでボタンを押すことができるようになった。

ドライブシュミレーター



- 映像を利用した感覚の統合(車のエンジン音、「左」と「右」の方向感覚、車が左右に曲がったときの体にかかる重力や車が揺れたときに伝わる振動を視覚的に感じる)
- 児童生徒の実態により、ベンチ椅子の座高をクッションで高くして児童の視線を向けやすしたり、バランスボードをはずしたりすることもできる。

ひも付きはさみ



- 通常のはさみを使うのが、難しい生徒が紐(わっか)を引っ張ることで、自力で切ることができる。

応援笛



○体育祭の応援合戦で口にくわえて笛を吹くことが難しい生徒に、ポンプを押すことによって応援する音を出すことができる。

持ち手付き卓球バレー用ラケット



○通常のラケットを持ちにくい生徒が、たて向きの持ち手を持つことで、操作できる。

二段式ペグボード



○視力が弱く、左半身も麻痺しており、右手の力も弱い生徒に対して。
○①目と手の協応、②集中力を高める。

スケジュールカード



○見通しをもって意欲的、主体的に作業できるように、最後に作業が終わると、好きなこと(キーボードなど)を提示することで、それを楽しみに意欲的に作業することができる。
○指先の巧緻性や作業の持続性の向上を図る。

カラーリングスロープ



○自分でローラーを目的地まで転がすことができない生徒が、スロープを使うことによって、目的地まで転がすことができる。
○さらにスロープの内側に凸凹ガイド(ピンクの部分)をつけるように改良したところ、手で押すだけで、真っ直ぐに目的地までローラーを転がすことができるようになった。